



株式会社ラック

2024年3月期 第1四半期決算説明資料

2023年8月8日

目次

1. 2024年3月期 第1四半期決算概要
2. 2024年3月期 連結業績予想
3. 補足資料
4. 会社紹介

2024年3月期 第1四半期決算概要

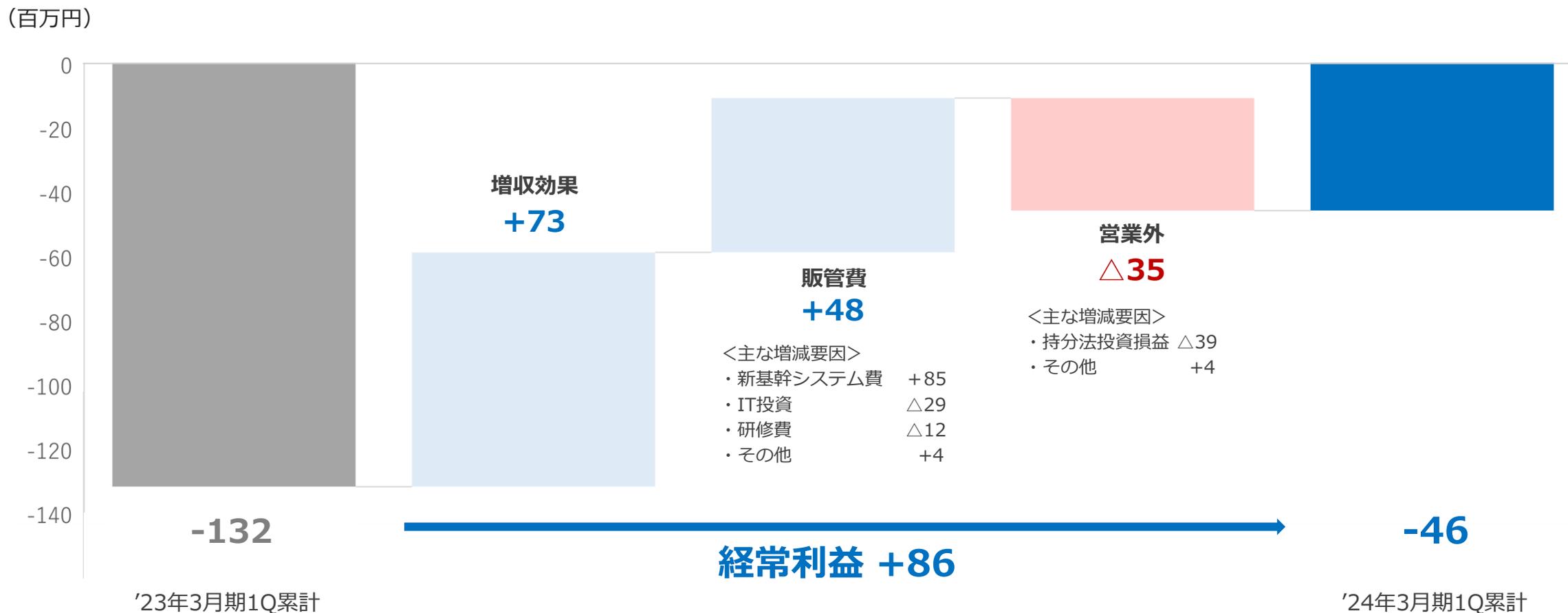
売上高はセキュリティ事業、SI事業の伸長により増収 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は改善

(百万円)

科目	'23年3月期 1Q累計実績	'24年3月期 1Q累計実績	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	10,168	11,619	+1,450	+14.3
営業利益	△123	△1	+122	-
営業利益率%	△1.2	△0.0	+1.2p	-
経常利益	△132	△46	+86	-
経常利益率%	△1.3	△0.4	+0.9p	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	△149	△56	+92	-

(注) 当社グループの事業の特徴として、特にセキュリティ事業の売上の計上が第4四半期連結会計期間に著しく偏り、第1四半期累計期間の業績は低い水準となる傾向があります。

IT投資の増加に加え、持分法投資損失の増加などがあったものの
増収効果や社内基幹システム費用減の影響などにより経常増益



(注) 持分法適用関連会社として、KDDIデジタルセキュリティ(株)、ニューリジェンセキュリティ(株)の2社があります。

セキュリティ事業は増収・減益、SI事業は増収・増益 全社共通費用は社内基幹システム費用減の影響などにより減少

(百万円)

売上高	'23年3月期 1Q累計実績	'24年3月期 1Q累計実績	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス (SSS) 事業	4,498	5,062	+563	+12.5
システムインテグレーションサービス (SIS) 事業	5,669	6,556	+886	+15.6
合計	10,168	11,619	+1,450	+14.3
セグメント利益	'23年3月期 1Q累計実績	'24年3月期 1Q累計実績	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス (SSS) 事業	201	173	△28	△14.3
システムインテグレーションサービス (SIS) 事業	731	801	+70	+9.6
合計	933	974	+41	+4.5
全社共通	△1,057	△976	+80	-

(注) セグメント利益は、全社共通費用を組み入れる前の事業にかかる販売費及び一般管理費を含めた利益です。

製品販売が大幅に拡大し増収、サービス関連の減収影響等もあり減益

セキュリティコンサルティングサービス

体制・対策強化に向けたコンサルティング案件の拡大はあったものの、事業の組み替え影響により減少

セキュリティ診断サービス

潜在的な脅威を調査するペネトレーションテストは案件が拡大したものの年間で手掛ける大型案件の売上が期末の一括計上となっていることなどにより減少

セキュリティ運用監視サービス

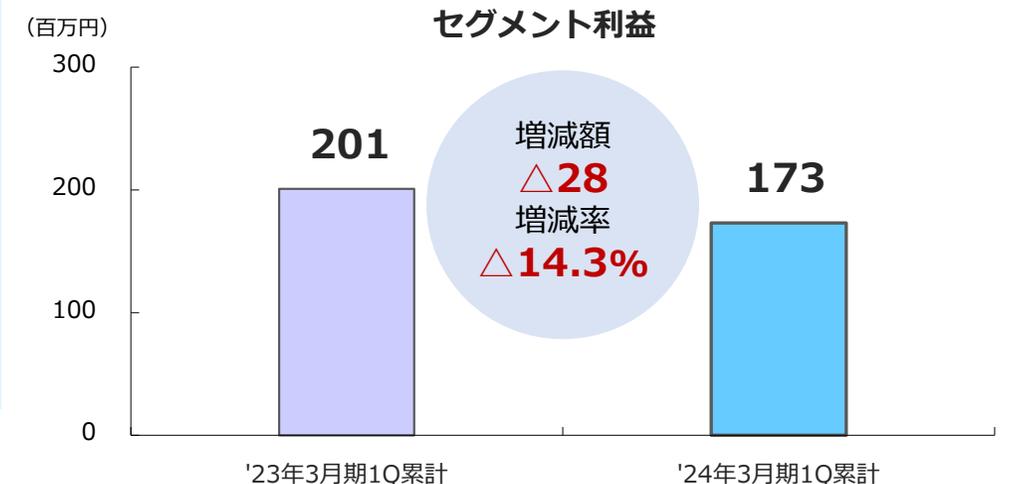
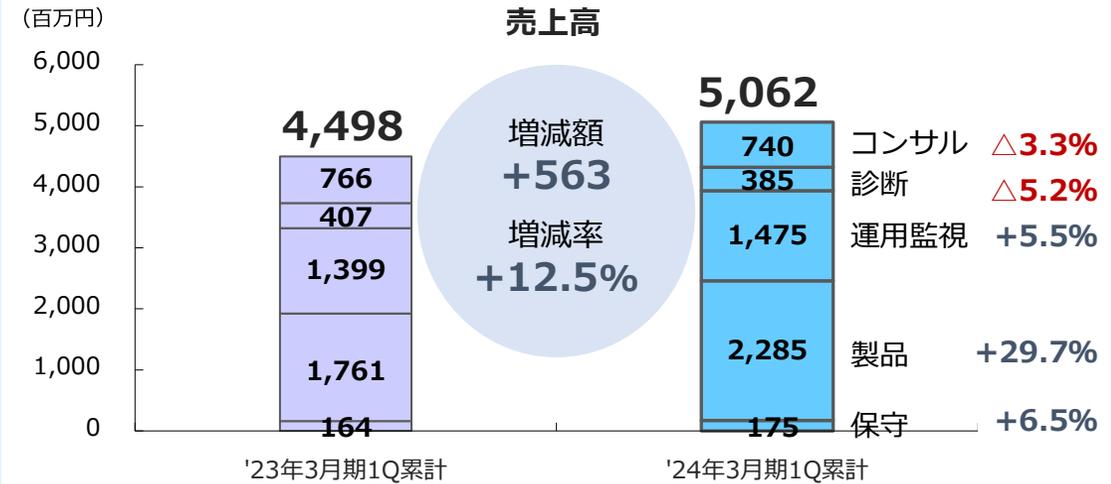
特定企業向けに高度な対策を行う個別監視サービスや内部不正監視サービスなどの伸長や事業の組み替え影響により伸長

セキュリティ製品販売

エンドポイント対策向けおよびサービス妨害型攻撃にも対応したWebセキュリティ対策向けクラウド対応製品や、様々な機器からデータを収集し分析するログ管理製品が大幅に拡大

セキュリティ保守サービス

クラウド対応製品の拡大等で需要が縮小している影響はあるものの、既存案件等が伸長



(注) 当第1四半期連結会計期間より、以下のとおりサブセグメント間で事業の組み替えを行っています。

- ・ エンドポイント対策支援サービス : コンサルティングサービス → 運用監視サービス
- ・ 標的型メール訓練サービス : 診断サービス → コンサルティングサービス

開発サービスやHW/SW販売などが伸長し増収・増益

開発サービス

大手銀行やクレジットカードなどの金融業向け案件に加え、公共向け案件が大幅に伸長

HW/SW（ハードウェア・ソフトウェア）販売

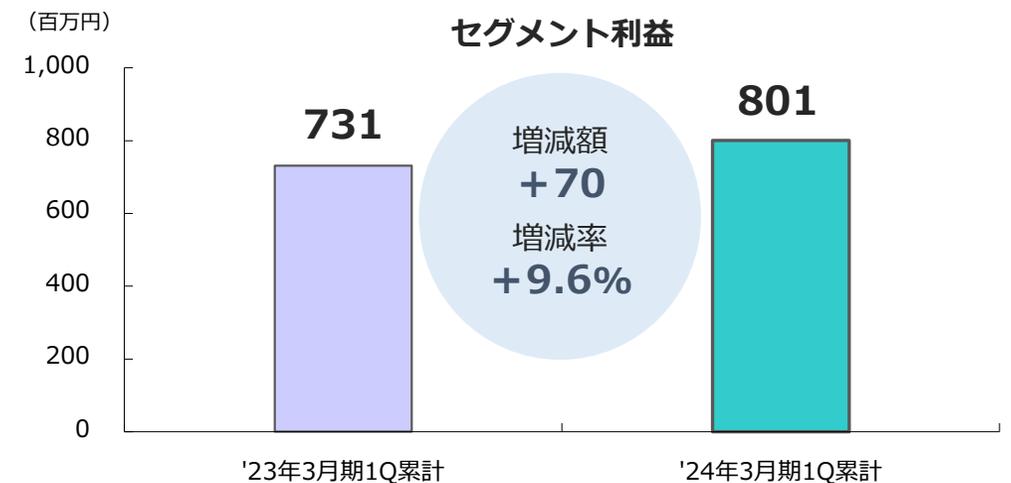
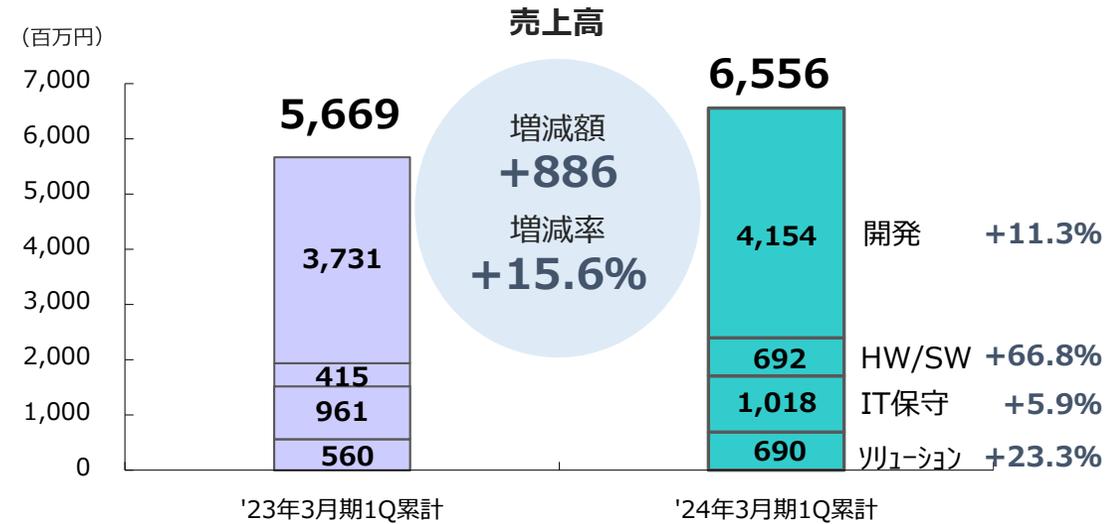
クラウドサービスの拡大等で需要は縮小しているものの、更新案件等の獲得により大幅に伸長

IT保守サービス

更新案件等が堅調に推移し伸長

ソリューションサービス

サイバーセキュリティ対策にも寄与するクラウドソリューション製品の販売が拡大



持続的な成長投資を可能とする安定した財務基盤を維持

(百万円)

科目	'23年3月期末	'23年6月末	前期末比 増減
資産合計	22,572	21,527	△1,044
流動資産	15,931	14,828	△1,103
固定資産	6,640	6,699	+58
負債合計	7,752	6,995	△756
流動負債	7,410	6,631	△778
固定負債	341	364	+22
純資産合計	14,820	14,531	△288
現預金	6,144	6,443	+299
有利子負債	1,460	784	△676
自己資本比率	65.7%	67.5%	+1.8p

増減ポイント

資産

【流動資産】

受取手形、売掛金および契約資産の減少 **△1,893**
商品の増加 +500

負債

【流動負債】

1年内返済予定の長期借入金の減少 **△666**

純資産

【純資産】

期末配当などによる利益剰余金の減少 **△485**

2024年3月期 連結業績予想

(2023年5月12日発表から変更ありません)

売上高、利益とも増収増益を予想

(百万円)

科目	'23年3月期 通期実績	'24年3月期 通期予想	前期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	44,018	46,500	+2,481	+5.6
営業利益	1,775	1,900	+124	+7.0
営業利益率%	4.0	4.1	+0.1p	-
経常利益	1,813	1,900	+86	+4.8
経常利益率%	4.1	4.1	△0.0p	-
親会社株主に帰属する当期純利益	△147	1,250	+1,397	-
自己資本当期純利益率(ROE)%	△1.0	8.3	+9.3p	-

セキュリティ事業は増収増益、SI事業は増収減益を予想 全社共通費用は減少を予想

(百万円)

売上高	'23年3月期 通期実績	'24年3月期 通期予想	前期比	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス (SSS) 事業	19,521	21,270	+1,748	+9.0
システムインテグレーションサービス (SIS) 事業	24,497	25,230	+732	+3.0
合計	44,018	46,500	+2,481	+5.6

セグメント利益	'23年3月期 通期実績	'24年3月期 通期予想	前期比	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス (SSS) 事業	2,366	2,520	+153	+6.5
システムインテグレーションサービス (SIS) 事業	3,429	3,360	△69	△2.0
合計	5,795	5,880	+84	+1.5

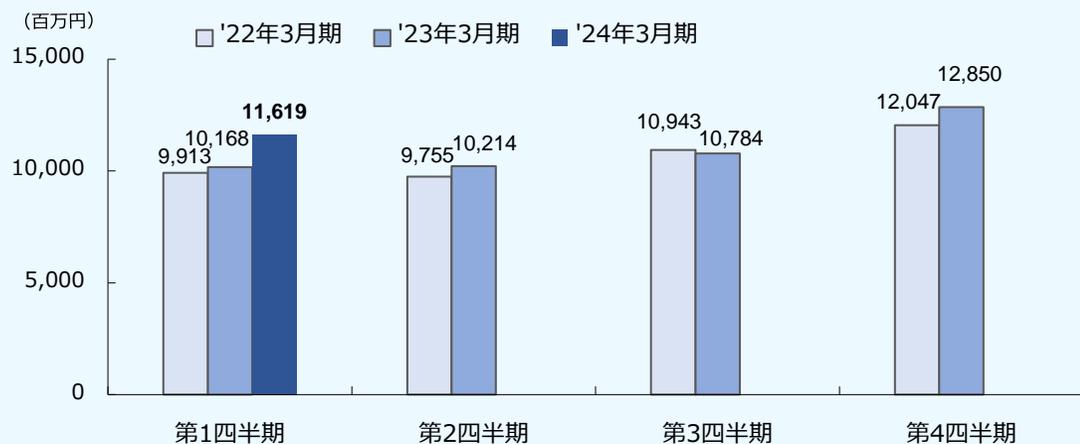
全社共通	△4,020	△3,980	+40	-
------	--------	--------	-----	---

(注) セグメント利益は、全社共通費用を組み入れる前の事業にかかる販売費及び一般管理費を含めた利益です。

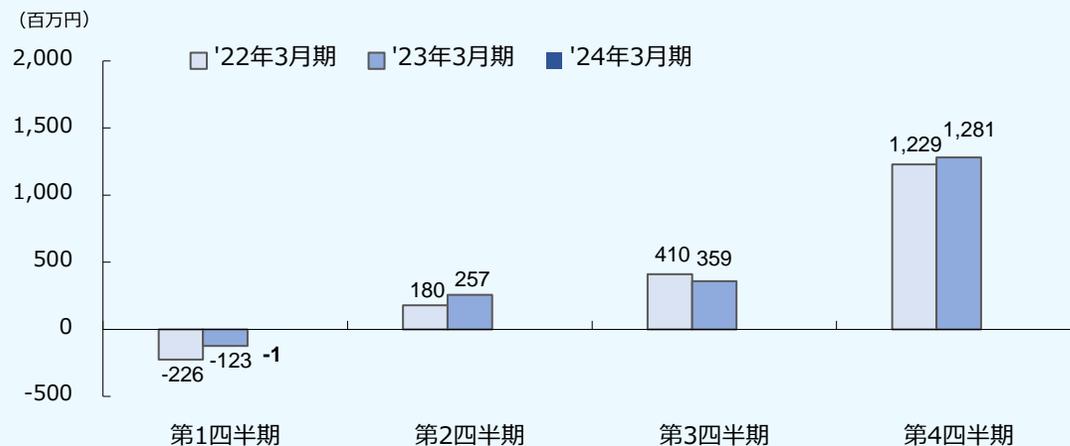
補足資料



売上高



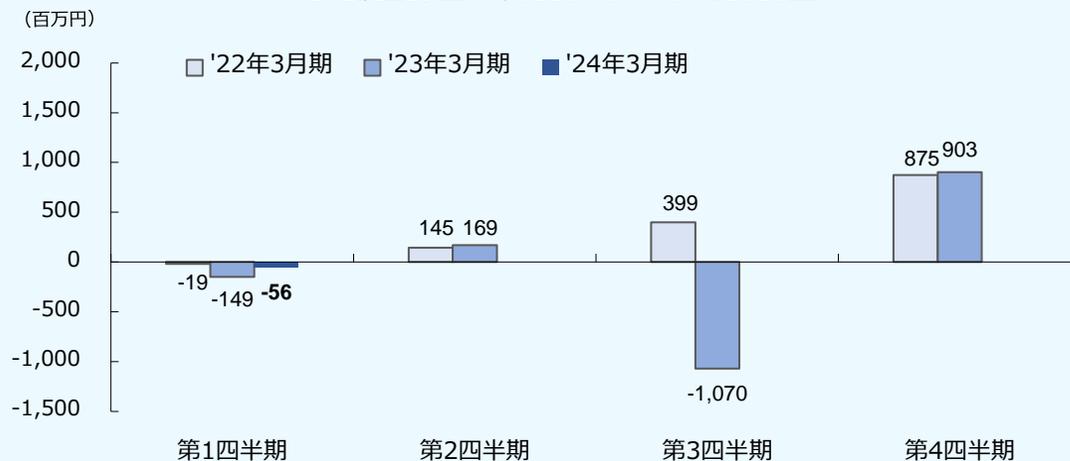
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期純利益



連結業績・セグメント別推移（四半期）



(百万円)

連結業績	'22年3月期				'23年3月期				'24年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	9,913	9,755	10,943	12,047	10,168	10,214	10,784	12,850	11,619			
売上原価	8,094	7,670	8,581	8,858	8,292	7,998	8,497	9,619	9,670			
売上原価率 (%)	81.7	78.6	78.4	73.5	81.6	78.3	78.8	74.9	83.2			
販売費及び一般管理費	2,045	1,904	1,951	1,959	1,999	1,958	1,927	1,949	1,950			
売上高販管費比率 (%)	20.6	19.5	17.8	16.3	19.7	19.2	17.9	15.2	16.8			
営業利益	△226	180	410	1,229	△123	257	359	1,281	△1			
売上高営業利益率 (%)	△2.3	1.9	3.8	10.2	△1.2	2.5	3.3	10.0	△0.0			
親会社株主に帰属する四半期純利益	△19	145	399	875	△149	169	△1,070	903	△56			
売上高四半期純利益率 (%)	△0.2	1.5	3.6	7.3	△1.5	1.7	△9.9	7.0	△0.5			

セキュリティソリューションサービス事業（SSS事業）

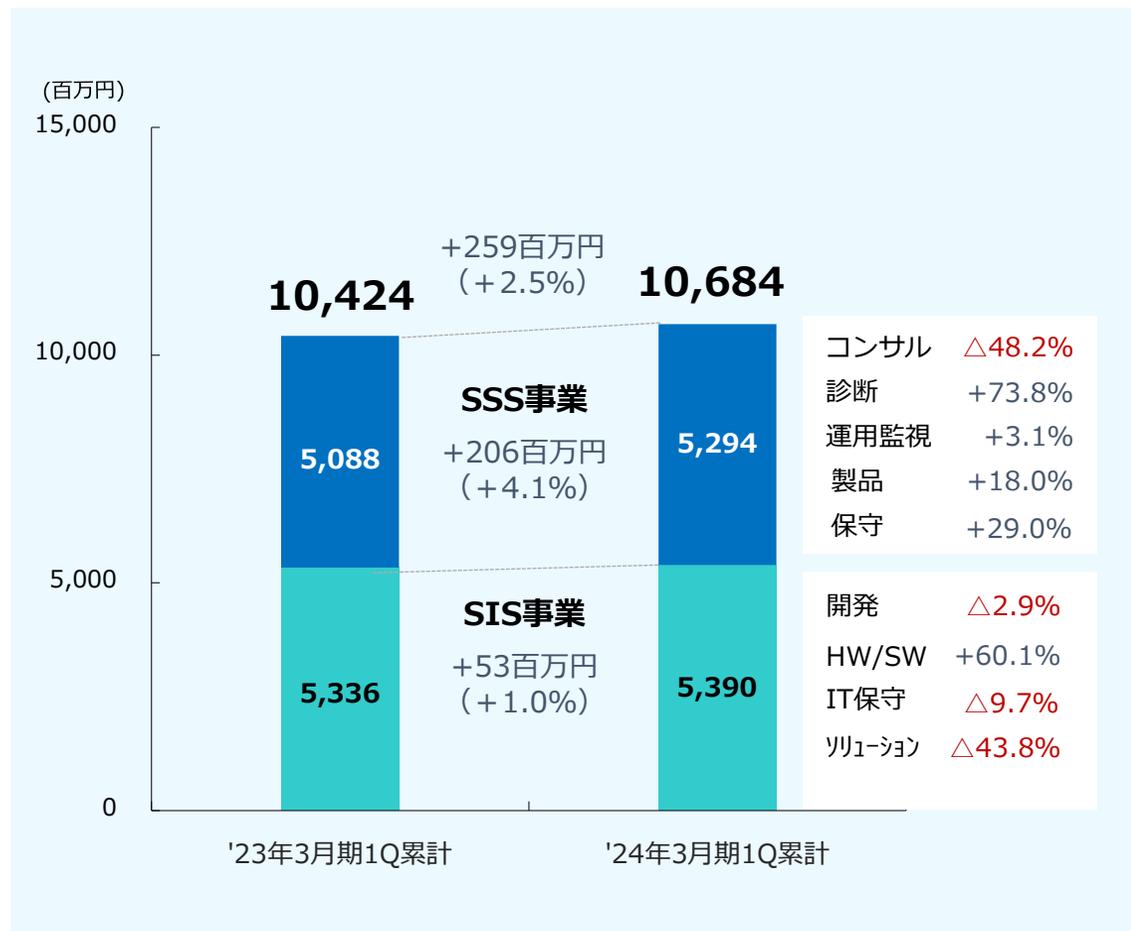
売上高	セキュリティコンサルティングサービス	740	905	881	1,209	766	959	980	1,250	740		
	セキュリティ診断サービス	411	504	464	1,072	407	583	629	1,128	385		
	セキュリティ運用監視サービス	1,405	1,385	1,507	1,524	1,399	1,452	1,444	1,655	1,475		
	セキュリティ製品販売	1,555	1,261	1,570	1,661	1,761	1,361	1,303	1,577	2,285		
	セキュリティ保守サービス	311	194	430	381	164	143	280	271	175		
	合 計	4,425	4,251	4,854	5,849	4,498	4,500	4,638	5,884	5,062		
セグメント利益		208	383	542	1,185	201	523	538	1,102	173		

システムインテグレーションサービス事業（SIS事業）

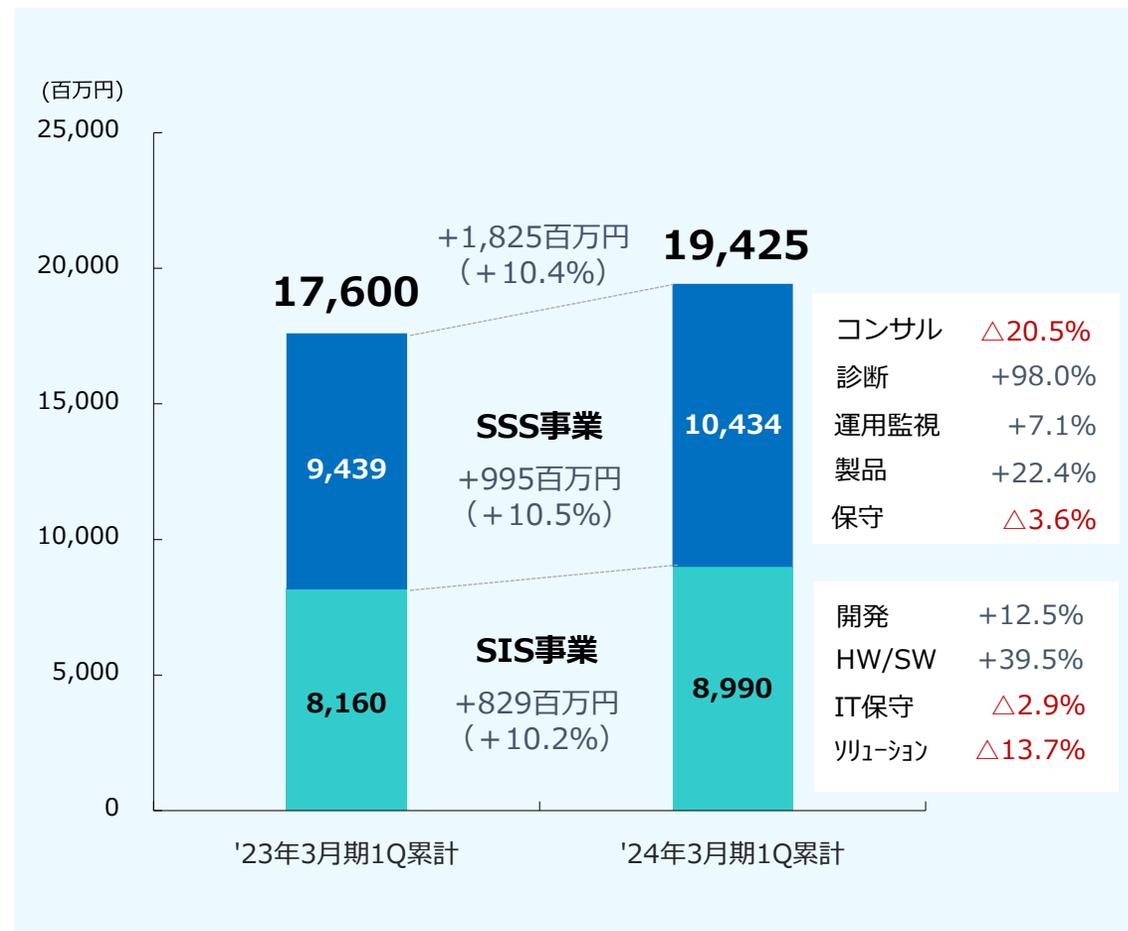
売上高	開発サービス	3,343	3,821	4,007	4,184	3,731	4,021	4,158	4,443	4,154		
	HW/SW販売	440	551	799	701	415	496	603	944	692		
	IT保守サービス	1,171	711	903	641	961	733	909	696	1,018		
	ソリューションサービス	532	419	378	671	560	463	475	882	690		
	合 計	5,488	5,503	6,089	6,198	5,669	5,714	6,146	6,966	6,556		
セグメント利益		507	694	778	1,005	731	769	798	1,129	801		

全社共通		△942	△896	△909	△960	△1,057	△1,035	△977	△950	△976		
------	--	------	------	------	------	--------	--------	------	------	------	--	--

受注高

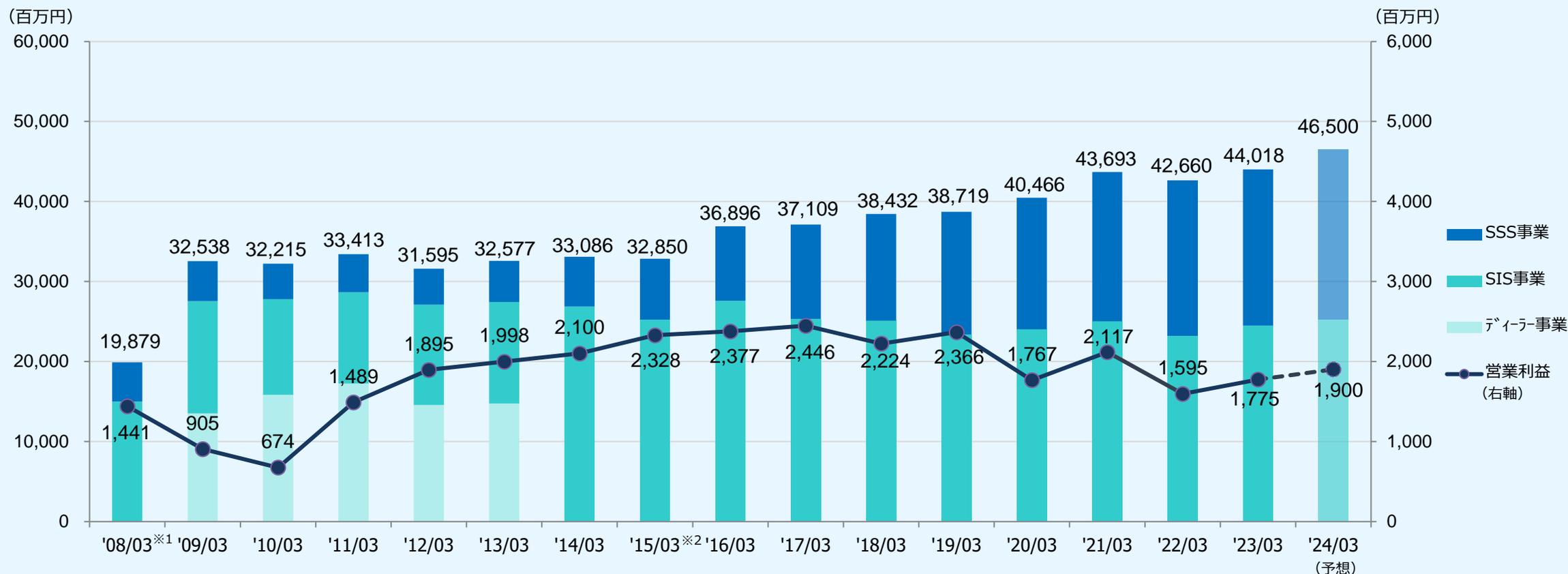


期末受注残高

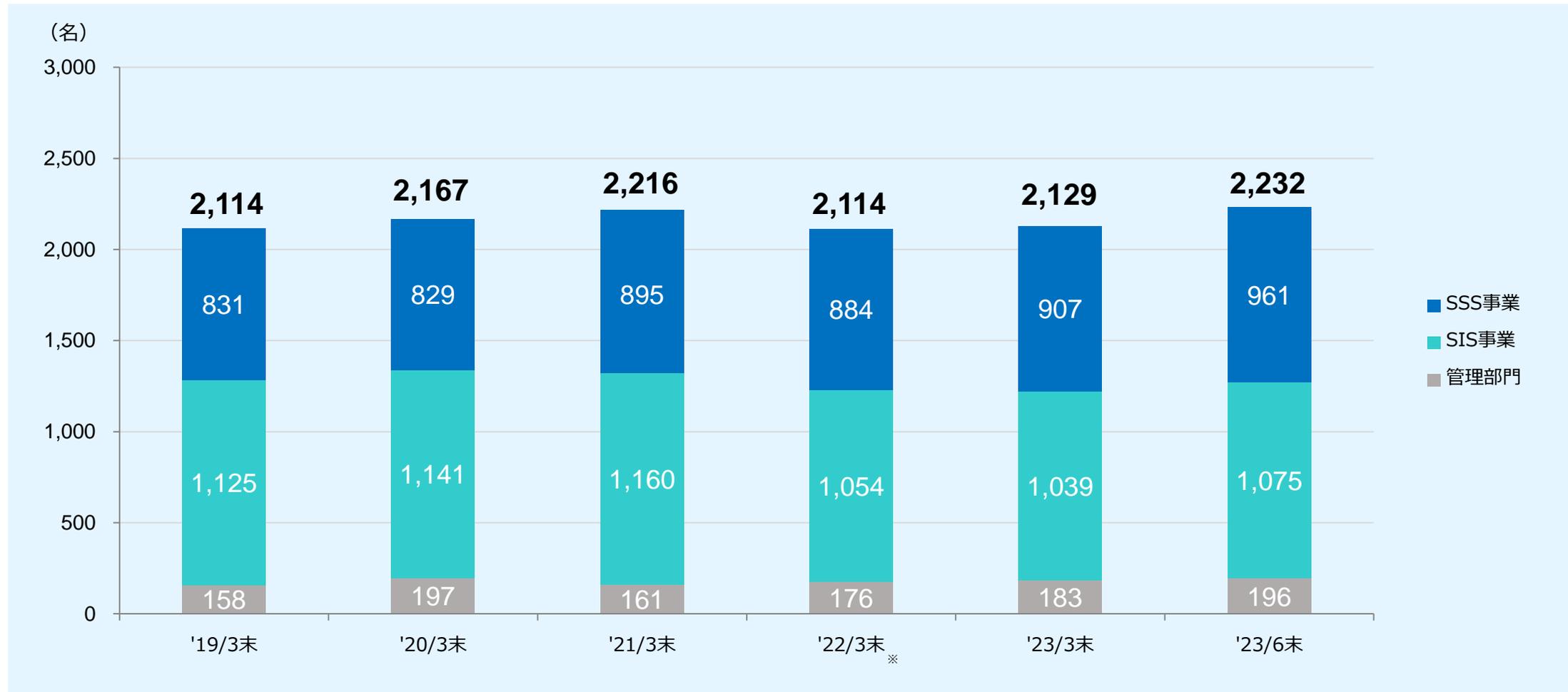


(注) 受注高、受注残高とも単体の数値です。

連結業績推移（セグメント別）



(注) 1. 旧ラックとA&Iの経営統合初年度である'08年3月期の業績には、旧ラックが決算期を12月から3月に変更したことから旧ラックは'07年1月1日～'08年3月31日までの15ヶ月決算を反映していますが、本資料では、同一期間で比較するため'07年1月1日から'07年3月31日までの旧ラックの個別業績（売上高2,019百万円、営業利益329百万円）を差し引き、1年換算とした場合の想定実績で記載しています。
 2. 事業セグメントの変更は'15年3月期からですが、セグメント別の業績を比較するため、その前年度である'14年3月期も同条件で組み替えた場合の想定実績で記載しています。



(注) '22年3月期末の従業員数は、SSS事業において、第1四半期に(株)アジアリザレクションが(株)ラックサイバーリンクを存続会社として吸収合併したことによる減少影響(21年3月末比較:30名)があります。また、SIS事業において、2021年6月28日にアイ・ネット・リリー・コーポレーション(株)の全株式を売却し、連結の範囲から除外していることから、同社の従業員数(21年6月末時点:97名)が除外されています。

会社紹介



(2023年6月30日時点)

会社名	株式会社ラック		
住所	東京都千代田区平河町2-16-1 平河町森タワー		
設立	2007年10月1日 (前身となる旧ラックは1986年に設立)		
代表者	代表取締役社長 西本 逸郎		
資本金	26億4,807万5,000円		
業績	売上高 440億円 営業利益 17億円 (2023年3月期)		
従業員数	連結 2,232名 単体 1,722名		
拠点	東陽町オフィス (東京都) 福岡オフィス (福岡県)	ラックテクノセンター秋葉原 (東京都) ラックテクノセンター北九州 (福岡県)	名古屋オフィス (愛知県) シンガポール支店 (シンガポール)
関係会社	セキュリティ 株式会社ラックサイバーリンク (東京都) KDDIデジタルセキュリティ株式会社※ (東京都) ニューリジェンセキュリティ株式会社※ (東京都) ※持分法適用関連会社	SIサービス 株式会社ソフトウェアサービス (東京都) 株式会社アクシス (福島県)	
上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場		証券コード 3857

他社に先駆けて始めたセキュリティ対策サービスと 独立系のITベンダーとして幅広い領域のSIサービスを提供

安心・安全なサイバー空間への貢献

SSS

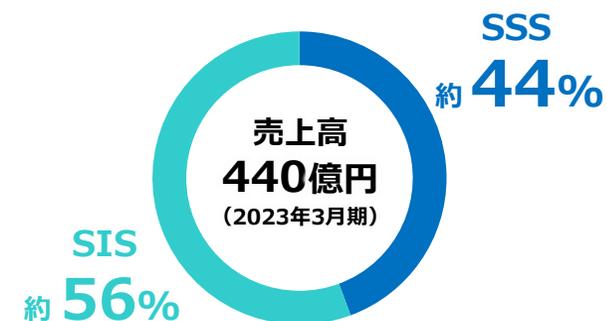
セキュリティソリューションサービス

24時間365日、リアルタイムで監視する国内最大級のセキュリティ監視センターを軸に、大手企業や官公庁向けに総合的なセキュリティ対策サービスを提供しています。

サブセグメント

- ・セキュリティコンサルティングサービス
- ・セキュリティ診断サービス
- ・セキュリティ運用監視サービス
- ・セキュリティ製品販売
- ・セキュリティ保守サービス

売上高構成比



ITによる豊かな社会への貢献

SIS

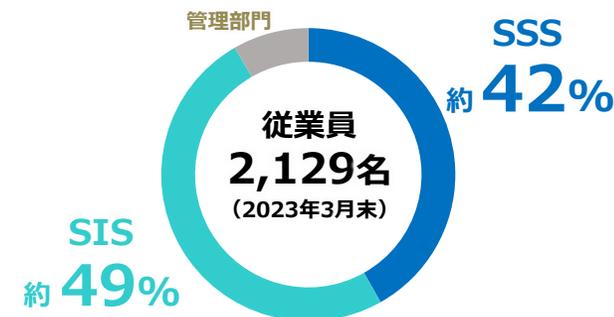
システムインテグレーションサービス

大手金融機関向け基盤システム開発のノウハウを強みに、幅広い業種のお客様へアプリケーションから基盤まで一貫したSIサービスを提供しています。

サブセグメント

- ・開発サービス
- ・HW/SW販売
- ・IT保守サービス
- ・ソリューションサービス

人員構成比



セキュリティの先駆者として構築してきた 総合的なセキュリティサービス

当社は1995年に、診断サービスから国内初のサイバーセキュリティ事業を開始しました。

まだサイバー攻撃への対処法が定まっていない時代、お客様の要望に応じてサービスモデルを構築し、総合的かつ先端のセキュリティサービスを提供しています。



高度な技術・ノウハウを有した セキュリティエンジニアによる専門サービス

当社の特徴は、高度な技術とノウハウを持つ「セキュリティエンジニア」によるサービスを提供していることです。

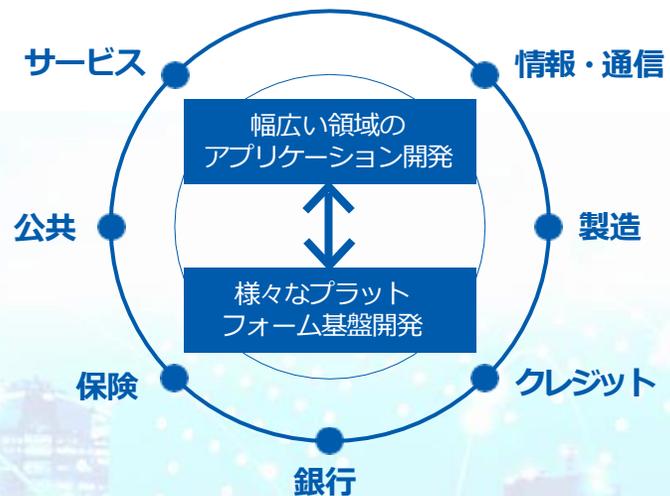
現場で独自に得られる最新の脅威情報をセキュリティ対策の高度な知見（インテリジェンス）として活用しています。



安定した収益を生み出す システム開発

独立系ITベンダーとして、30年以上にわたり基盤システムやITインフラを開発してきました。

メインフレームからスマートフォンアプリの開発まで、幅広いプラットフォームの基盤構築とアプリケーションの設計構築に精通しています。



常に進化し続け成長していく ユニークな組織や人材



専門的な技術や情報、知見を持って、お客様の課題を解決する組織やセンター群を擁しています。

多様な分野の人材育成とあわせ、専門スキルを評価する人事制度などを充実させ、今後の成長と発展を担う人材の育成・確保に努めています。

- **JSOC**
国内最大規模のセキュリティ監視センター
- **サイバー救急センター**
サイバー被害の救急対応を24時間365日実施
- **ラックセキュリティアカデミー**
専門講師による実践的情報セキュリティ教育
- **サイバー・グリッド・ジャパン**
セキュリティ等の国防・ICT利用啓発等の研究
- **ラックテクノセンター秋葉原**
自動車・IoT機器など種々のシステムに対する侵入テストを行う技術拠点
- **金融犯罪対策センター**
金融犯罪被害の相談と対策支援、防御技術の開発

Azure Open AI Serviceを活用し、独自のAIサービスを社内で開発・運用開始 社内業務の効率化とサイバーセキュリティへの活用を視野に安全な社内システムを構築

ラックの生成AI活用に関する主な活動内容

ラックは社内にGAI CoE（Generative AI Center of Excellence）を立ち上げ、社内システムを通じて全社員が安全に業務への活用が行える環境を整備し6月より運用を開始。

企業向けにカスタマイズして利用できる生成AIであるMicrosoft社のAzure Open AI Serviceを活用して、社内に独自のAIサービスを開発、利用を開始。

セキュリティが担保された独自のAIサービスを通じて、社内データも利用し、お客様の課題解決に向けた生成AIの活用を促進。

ラックGAI CoEチームの編成

社内の経営幹部、エンジニア部門、管理部門、営業マーケティング部門など全社から選抜された約30名が集中して、制度整備、社内ツール開発、効果的なプロンプト（AIへの指示文）や効果の共有、リスク管理などを行う。

全社員が利用するチャットツールへの生成AIの組み込み

生成AI活用のためのアプリケーション「Chotto Chat」を開発し、社内インフラの1つである、Microsoft 365 Teamsに組み込み、全社での利用を開始。

独自のAIサービスを社内で開発・運用を開始

OpenAI社のChatGPTを企業向けにカスタマイズして利用できる生成AIであるMicrosoft社のAzure Open AI Serviceを用いて、社内に独自のAIサービスを開発、利用を開始。

生成AIの個人利用の促進

社員のAI活用スキル向上のために、ChatGPTの有料プラン費用をサポートする制度を整備。様々な分野、用途へ活用するアイデアを得たり、個人的な学習にも活用して、個々の社員の好奇心や創造力向上を目指す。

(注) 1.GAI（General Artificial Intelligence：汎用性人工知能）

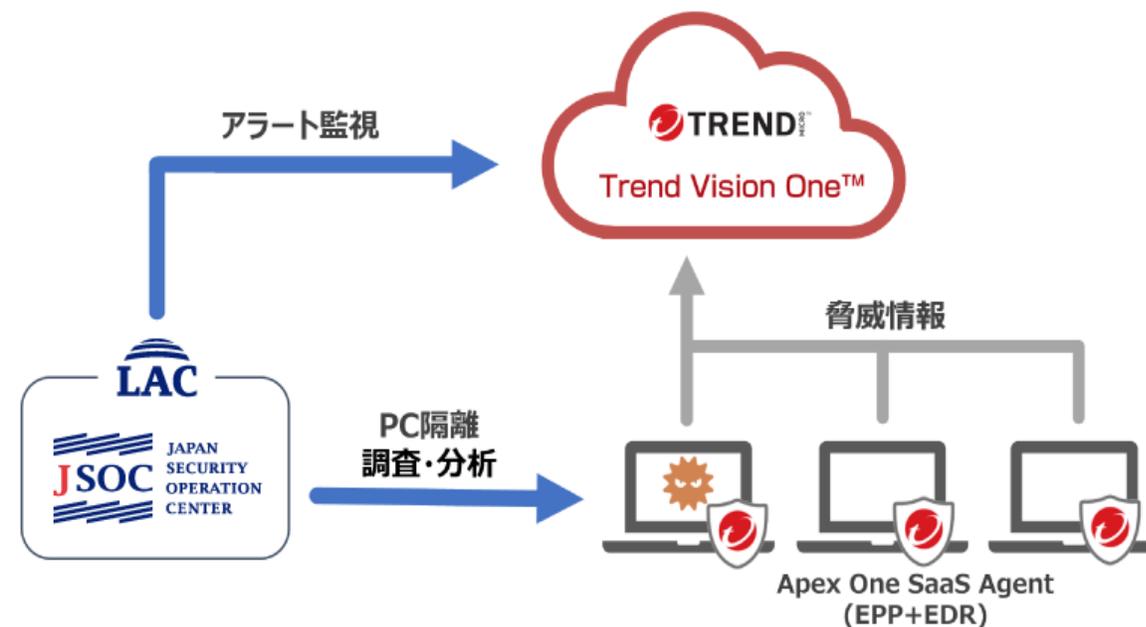
2.CoE（Center of Excellence：社内に散らばる人材・ノウハウや資金などの経営資源を組織横断的に集約し活動する組織）

サイバー脅威が大企業のサプライチェーンや取引先の中堅・中小企業にまで広がるなか、企業規模に関わらずランサム被害を防ぐマネージドEDRサービスを提供

ラックは企業規模を問わず利用しやすいトレンドマイクロ製品によって実現されるEDR機能をマネージドEDRサービスのラインアップに追加し、「マネージドEDRサービス for Trend Micro™」としてサービス提供を開始。

24時間365日のアラート監視、危険性の高いアラートに対する自動隔離、取引先などへの説明や今後の対策に利用可能な詳細調査報告書の作成などを行い、迅速なインシデント対応を実現。

マネージドEDRサービス for Trend Micro™のサービス



(注) 1.EDR : Endpoint Detection and Response (エンドポイントにおける不審な挙動を検知し、迅速な対応を支援するソリューション)。

2.EPP : Endpoint Protection Platform (アンチウイルス機能)。

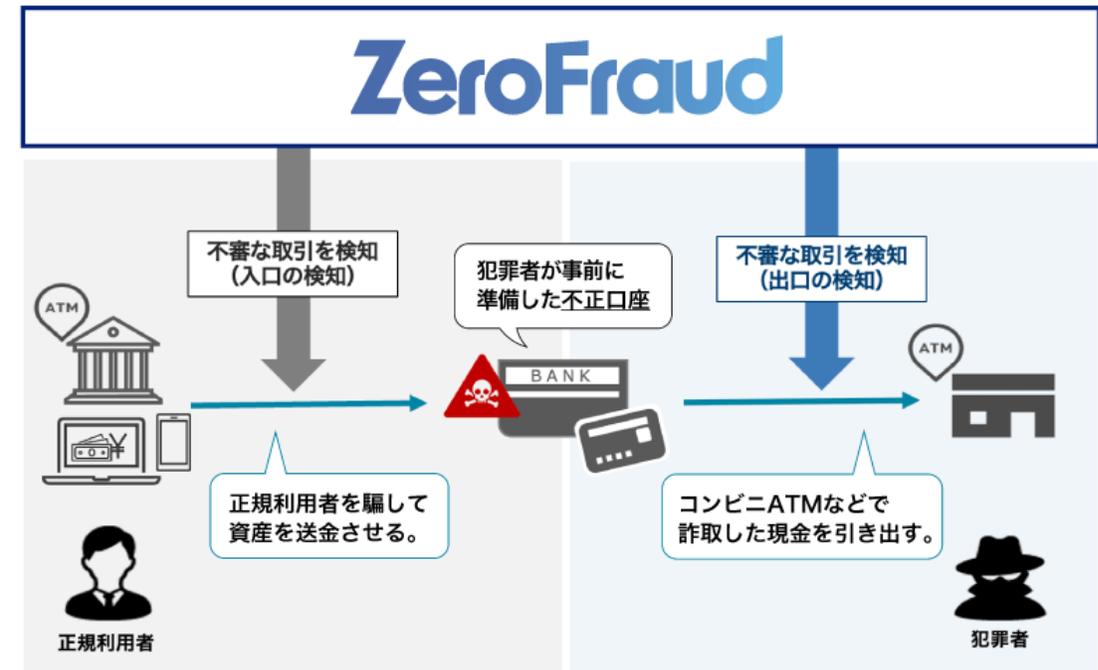
犯罪者が資金を窃取する受け皿となる不正口座を検知・発見することで、より効果的に不正送金や特殊詐欺の検知・抑止が可能

ラックは、不正口座のAI検知技術を自社開発し、独自の金融犯罪対策ソリューション「AI ZeroFraud」に組み込んだサービスを開始。

一連の不正送金等の取引において、犯罪者が資金を窃取するための「入口」と、送金先の受け皿となる「出口」の双方の不正を判別することで、より効果的に不正送金や特殊詐欺の検知・抑止を行うことが可能。

(注) 不正口座：犯罪によって得た資金の受け渡しに用いられる口座。犯罪利用を目的として偽造身分証などを用いて開設された口座や、第三者からの譲渡・売買によって不正に犯罪者が取得した口座で加害口座とも呼ばれる。

サービスの特徴





※本資料は2023年8月8日時点の情報に基づいて作成しており、記載内容は予告なく変更される場合があります。

※この配付資料に記載されている業績目標、将来の見通しなどの記述はいずれも、当社グループが作成時点で入手可能な情報を基にした予想または想定に基づく記述であり、これらは経済情勢や社会動向等の様々な経営環境の変化によって、直接・間接に影響を受けるものであり、実際の業績、戦略などは、この配付資料に記載されている予想または想定とは大きく異なる可能性があります。

※ LAC、ラック、JSOC、サイバー救急センターは株式会社ラックの登録商標です。その他記載されている会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。